

だんだん

いい汗かこう!

「知事自らメタボ対策!」をキャッチフレーズに、新潟県が進める「健康関連ビジネスモデル推進事業」取組団体の健康増進プロジェクトを知事が体験する催しが、9月3日(月)当間高原リゾートベルナティオを会場に行われました。地域の病院と企業が連携して開発した「予防医療と観光を組み合わせた体験メニュー」を泉田知事や田口市長、関係者、市民など約20人が体験。3kmを25分で歩くハードなウォーキングで汗を流した後、デトックス(体内浄化)ランチの試食、懇談会などで健康ビジネスへの関心を高めました。(先頭を軽快に歩く泉田知事)

主な内容

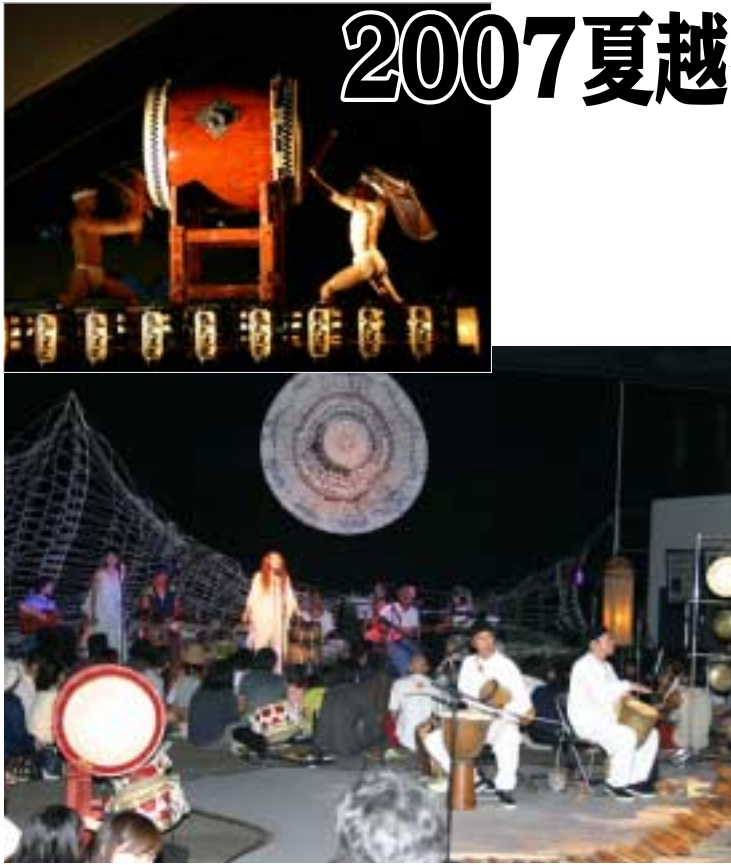
- 2009年芸術祭につなぐ
2007夏越後妻有 大地の祭り 閉幕 2-3
- 祭りづくし! 2007 4-5
- 市長への便り/地域にでかけます サタデー市長室 6-7
- 創ろう!自分の田舎とおかまち/後期高齢者医療制度② 8-9
- 緊急地震速報/天ぷら油リサイクルほか 10-11
- 参加者募集!水辺の楽校/川西支所しゅん工ほか 12-13
- 地域の風 ~支所からのたより~ 14-15
- ときめきネットワーク ほか 16-17
- まちの話題 TOPICS ほか 18-19
- お知らせ・ガイド 20-23
- ジュニア芸術祭—田沢小学校— 24

躍動の33日間 2009年芸術祭につなぐ 2007夏越後妻有大地の祭り 閉幕

さまざまなイベントやワークショップの開催でにぎわった、「2007夏越後妻有大地の祭り」が9月2日(日)、33日間の会期を終了しました。期間中には、地元の有志ボランティアが大地の祭りにかかわり、地域のPRをしながらか元地元の祭りとして取り込む活動が見られました。また、3回にわたって作品公募ツアーも開催され、芸術祭に興味を持つ多くの作家が参加するなど、次回2009年第4回大地の芸術祭につながる気運の高まりが見られました。

地域との融合イベントで 祭りに親しみ

8月18日(土)、19日(日)の2日間、まつだ農舞台で行われた「里山ミュージックフェスティバル'07『音・楽・市』」は、地域の食や工芸品を集めた「市」と楽器の実演やライブなど「音」に親しむ2つの楽しみを兼ねそろえ



里山ミュージックフェスティバル'07「音・楽・市」特別コンサート「鬼火燎原〜きびりょうげん〜」

た催し。農舞台外庭には市内外の20の露店が軒を連ね、出店者と特産品を買い求める人との朗らかな会話が催しを引き立てました。また、18日(土)に開催された同フェスティバルの特別コンサート「鬼火燎原〜きびりょうげん〜」は、出演者を観客が取り巻くステージ構成で一体感あふれる音の世界を演出。市内で合宿しながらパワフルな和太鼓演奏を演じる鬼太鼓座と平和と愛を歌う山根麻以+Visionsなどによるジョイントコンサートが鑑賞する約400人を魅了し、祭りの中盤を盛り上げました。

当地公演 地域が下支え

9月1日(土)、儀明／劇場「倉」で行われた「まつだ自然文楽劇場『音楽劇『臨界』』―自然界と人間界の融点を求めて―」は、吉田勘緑さんの文楽人形と坂田明さんのジャズ音楽、それに犬伏の松亭太鼓が加わった、当地ならではの共演。山あいに響く太鼓が薄暮に舞う人形と絶妙にマッチし、特設機材を埋めた220人は、幻想的な秋の宵を楽しみました。

「文楽に私らが引き込まれている感じだの。勘緑さんも集落のことを考えてく



写真左が村松さん



文楽人形を操る吉田さん(写真右から3人目)と松亭太鼓のみなさん

れていることもうれしいで」と、会場準備にいそしむ儀明劇場協力会会長の村松竹一さん(儀明・72歳)。今年の春、儀明／劇場「倉」が所在する儀明では同協力を設立しました。劇場での公演やワークショップの運営などに、地元民が積極的にかわることで集落の活性化につなげようと、有志約20人が結束。今回の公演でも会場づくりから入場整理までスタッフとして下支えしました。「平均年齢は60歳をこえるでも、ここでの催しがやる気を起す源になっている。勘緑さんとの劇場、そしてみんなのやる気。この財産を生かして、将来につなげねえけら」。次回、第4回大地の芸術祭に期待を込めます。

有志ボランティアが 駅前案内活動

大地の祭り会期中の土・日曜日、市民有志のボランティアが十日町駅西口構内を拠点に、来訪者の案内活動を行いました。作品紹介や観光情報の提供を行ったもので、活動に参加した川田孝二さん(大黒沢第3・66歳)は、「迎える立場として、もっと勉強したい。次回は、さらに明るく接客したい」と話していました。2年後の第4回大地の芸術祭に向けた市民の動きが、このようなところからも始まっています。



公開制作「アートを創る家」

作家名：びのわ(美の輪)
(東京電機大学+共立女子大学+有志)

第3回大地の芸術祭の空き家作品の一つである「小出の家(井出創太郎+高浜利也：作)」を、宿泊して作品を制作したりセミナーを行ったりする場として活用しようと、今夏に東京電機大学、共立女子大学の学生など27人が訪れて格子状の床枠に耐加重の亚克力板でふたをするなどの公開制作を行いました。プロジェクトリーダーの柳生隆文さん(東京電機大学大学院1年)は「制作滞在中、小出のみなさん大変お世話になりました。今後、ここでどんな交流できるか今から楽しみです」と話していました。改修は2008年に完成する予定で、第4回大地の芸術祭に備えます。



2009大地の芸術祭 作品公募ツアーに多数の参加者

大地の祭り会期中に3回、1泊2日の「越後妻有アートトリエンナーレ2009作品プランコンペティション現地見学会」(作品公募ツアー)が行われました。

2009年開催の第4回大地の芸術祭で展開する作品を募集するために実施したもので、首都圏を中心に全国各地から約80人のアーティストなどが参加しました。

初日は作品や地域全体をまわるツアー、2日目はプロジェクトの説明会で、北川フラム大地の芸術祭総合ディレクターが案内しました。参加者の多くが熱心にメモを取ったり写真撮影をしたりして、作品プランのヒントを求めています。

色彩と音楽を組み合わせた作品を発表している大場陽子さん(東京都北区・32歳/写真右)と岩井亜希子さん(千葉県八千代市・32歳/同左)は、「棚田や広大で豊かな自然に根源的なものを感じます。色彩と音、風景を同化させるような作品プランを提案したいです」と意欲的でした。



北川フラム総合ディレクターの解説に耳を傾ける参加者



仮装大会

上野しちんちまつり／8月26日(日)

今年で43回目を数える仮装大会には、市内外から多くの参加があります。ちんどん屋が地元商店の宣伝に大活躍。



上山諏訪神社 奉納演芸大会

上山秋祭り／8月30日(木)

後祭りに行われる芸能大会で、今年で32回目を数える伝統行事。14の演目に、笑い大きな拍手とオヒネリが贈られていました。



「祭りだ!!祭りだ!!」では、1日集中エクササイズ「ビリーズ・ブートキャンプ」でみごとな熱演。

子供みこし

松之山まつり／9月1日(土)

元気のいい「わっしょい!」「わっしょい!」のかけ声とともに、沿道の声援を受けながら松之山商店街を練り歩いた「子供みこし」。



室野みこし

室野秋祭り／
9月1日(土)・2日(日)

神楽のおはやしが先導して、子供みこしと大人みこしが集落内を練り歩きます。各町内会の休憩所で飲み物や料理が担ぎ手に振る舞われ、厄除けと五穀豊穡を祈念する室野神楽が踊られます。



明石万灯

十日町おおまつり／
8月25日(土)

五穀豊穡、無病息災、商売繁盛…さまざまな願いが込められた万灯が街を照らしました。



八角みこし^{とぎよ}渡御

十日町おおまつり／8月27日(月)
8月26日(日)・27日(月)の両日に行われた八角みこしの渡御はおおまつりの大目玉。「おいよい!おいよい!」と威勢の良いかけ声が街に響き渡れば、まつりも一気に盛り上がります。



大民謡流し

十日町おおまつり／8月25日(土)

職場や町内単位の長い列。浴衣を身にまとい、いつもとちよつと違った雰囲気「十日町小唄」「深雪甚句」を踊る姿は風情豊かです。

8月25日前後から今月にかけて、「十日町おおまつり」をはじめ、各地で盛大に夏・秋まつりが催されました。昔から受け継がれてきた祭礼や時代に合わせたイベントとしてのまつりなどさまざまですが、まつりはいつの時代も地域の一大行事です。そのいくつかを、写真を中心に紹介します。

祭り
ぐんし
2007

お寄せください
まちづくりの提言・質問

市長への便り

市では、市民の声を広く市政に反映させるため「市長への便り」を実施しています。平成18年度は60通、今年度は56通（8月末現在）が寄せられています。その中から、主なものをいくつか紹介します。 ※多数寄せられた意見や質問は、内容ごとにまとめてあります。

「市長への便り」は、市役所本庁、各支所に配置してあります。また、Eメールでも受け付けています。kouhou@city.tokamachi.niigata.jp ※氏名・住所などの記載がない便りやEメールへは回答しません。 問合せ：総務課広報広聴係 ☎757-3112（内線213）

◎ 財政再建に向け、当分の間、建築物や高速情報通信基盤整備事業などの公共事業を凍結し、市の借金を返済するべきではないか。

△ 市では今後の安定的な財政運営を進めるため、昨年、長期財政計画と公債費負担適正化計画を立てました。これは、市債（借金）を減額するために、建設事業費などを縮小し新たな市債を抑えていく計画です。しかし、市の均衡ある発展と住民福祉を向上させるための建設事業は必要です。道路や文化的施設、高速情報通信網などの施設を市債で整備することは、将来への投資でもあり、市が今後さらに発展していくためにも、全体の建設事業費を勘案しながら有効的に執行していきます。

◎ 半期ごとの行政執行状況と財政状況及び補正予算の内容を公表してほしい。

△ 行政情報の公開は、公正な市政運営を進めるために大切なことです。が、情報過多といわれている現在、市民からも配布物が多すぎるとの苦情をいただいています。半期ごとの執行状況や財政の実態などは、条例で定める以外は一般公表というよりも市役所本庁・支所並びに情報館などで閲覧できるように配備しています。また、各所管部署でも請求に応じて資料提示していますのでご利用ください。

◎ インターネットの環境が不備で困っている。早急に光ケーブルを整備してほしい。

◎ 資源ごみがキチンと分別され、市民一人ひとりが資源として生かして住みよい市になるよう心がけていることに感心する。

△ 当市の資源物処理は、市の分別収集計画に基づき、民間事業所で再生処理を行うなど、行政と民間が一体となつて取り組んでいます。再生処理には「きれいに洗う」「ふたを取る」など制約が多いため、市民の排出段階での協力が欠かせません。今後とも、市民の皆さんのご協力をお願いします。

◎ 市職員と民間との給与格差を是正すべきだ。

△ 市では平成18年度に、職務・職責に応じた給与体系や勤務実績を反映させるなどの改正を行い、全体的な給与の抑制を図りました。その結果、給与水準は、国の職員を100とした場合、市は91・9となっており、県内では20市中、14番目となっています。今後も、人員適正化計画に沿い、能率性を重視した組織にしていくとともに、効率のよい職務を徹底していきます。

◎ 市内でホームヘルパーの資格が取得できたり、さまざまな職業訓練が受けられるところはないか。

△ ホームヘルパーの養成講座は、十日町市社会福祉協議会で開催して

います。市の高齢化率も30%を超え、ホームヘルプサービスの利用者が今後増えることが予想されます。今年度も「ホームヘルパー2級」の養成講座を予定しています。希望する人は同協議会（☎750-5010）へ問い合わせてください。 また、市内には、十日町市高等職業訓練校（新座）で、製図・測量・電算などの訓練科目を、十日町和洋裁高等職業訓練校（本町西1）では、和裁科と洋裁科が設けられていて、多くの人が受講しています。科目は、卒業生の進路や業界の職種・規模のバランスなども勘案して設定されています。市としても、国・県などの関係機関と協力しながら、より地域の実情に合った職業訓練の機会を提供できるよう努めていきます。

◎ 合併後の各地域を知るため、道路及び全集落名などが載った地図を作成してほしい。

△ 合併したことにより、市報などで紹介する地域の情報も広範囲にわたっています。また、所在地などの表記は、旧市町村名を省いた行政区名を主に使用していることから、分らない地名も多いと思います。所在地を知ることは地域を理解したり親近感を抱くための情報として必要であることから、今年度集落名を載せた地図を作成する予定です。

△ 現代の情報化社会に対応するため、市では高速情報通信網整備事業を進めています。この事業は、高速インターネットの利用はもとより、テレビの難視聴や地上デジタル化への対応及び防災・地域コミュニケーションのための告知放送など、さまざまな情報環境を全市に整備していくもので、今後の市の産業振興や市民が安全・安心して暮らせる行政サービスを提供するうえで欠かせないものです。できるだけ早い時期に、市内で光サービスが利用できるよう、基盤整備やサービス提供を行う連携事業者とともに事業を進めていきます。

◎ 大地の芸術祭の開催は、どのような効果があったのか。

△ 県統計課の調査によれば、会期中（平成16・18年度）の新潟県全体への経済波及効果は約56億円と推計されていることから、大地の芸術祭の開催により、妻有地域にとどまらず全県に効果が及んだと考えています。また、作家やボランティアが集落の人々と協働で作品づくりや催しを行なうことで、集落コミュニティの維持や交流人口の増加、また新しい産業おこしとして「妻有焼」の創出など、新たな価値を生み出していることも大きな成果です。このことが、地域活性化の芽となり、大きく育っていくことを期待しています。



第3回大地の芸術祭作品「妻有の家」レアンドロ・エルリッヒ作

◎ 国民健康保険の被保険者証の文字が小さくて見づらい。せめて氏名だけでも大きくしてほしい。

△ 今年度更新の被保険者証から氏名の印字を大きくしました。被保険者証の限られたスペースから、その他の部分については、従来の文字の大きさになっています。

◎ 地域活性化対策として、地域資源の一つである山菜を活用した加工品などの販売はできないか。

△ 山菜は当地方の重要な特産品です。現在も自然のものを採取するだけでなく、ウドやゼンマイなどの栽培研究にも力を入れ、生産推奨作物として広めています。しかし、山菜は季節的なものであることや一般の露地野菜に比べると生産量が少ないことから、年間を通した生産・加工は難しい状況です。今後も地域住民や地元農協などと協力しながら、産地化に努めていきます。

地域に出かけます

サタデー市長室

市民と市長が直接対話する「サタデー市長室」を行っています。10月からは各地域に出かけて実施する日を設けます。参加を希望する場合は、以下により申し込んでください。

- 実施日 10月27日（松代支所） 11月10日（川西支所）
（実施場所） 11月24日（中里支所） 12月8日（松之山支所）
（各土曜日） ※以下の実施日は市役所（本庁）市長室で行います。
12月22日 1月12日 1月26日 2月9日 2月23日
3月8日 3月22日
- 対象者 原則として市内に住所または勤務地・所在地がある個人及び団体（10人以内）
- 申込方法 ●氏名、年齢、住所、電話番号、市長と話したい内容などを明記のうえ、電話・FAX・Eメール・郵送などの方法で事前に申し込んでください。
●受付は先着順（開催日の3日前締切り）
- 対談時間 午前9時から正午まで（1組1時間以内）
- 出席者 市長／関係職員など
- その他 ●市長公務の都合などにより、実施できない場合があります。
●内容により、対談によらず電話対応や文書回答することがあります。

◇申込み・問合せ◇

〈各支所開催〉
（地域振興課行政係）

●川西支所 ☎768-4951

●中里支所 ☎763-2511

●松代支所 ☎597-2220

●松之山支所 ☎596-3131

〈本庁開催〉
●総務課広報広聴係 ☎757-3112

平成20年
4月から

「後期高齢者医療制度」

シリーズ No. 2 後期高齢者医療制度の運営について

問合せ
介護国保課
国保係
☎757-3735

Q. 後期高齢者医療広域連合とは？

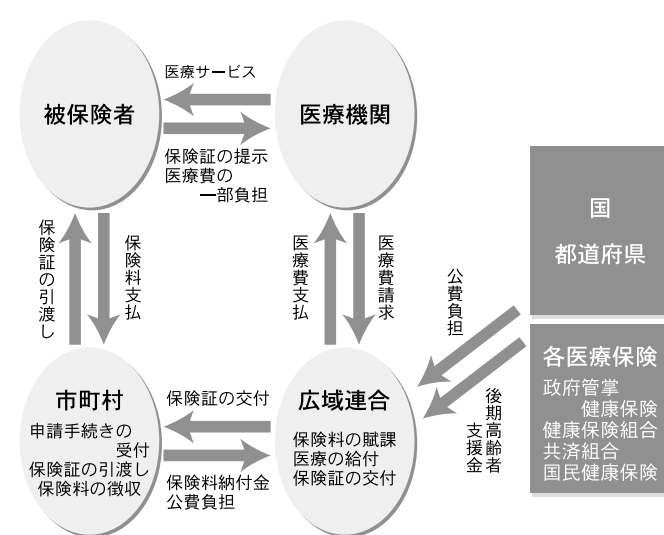
A. 後期高齢者医療制度の運営を行うために都道府県ごとに設置された特別地方公共団体です。この広域連合は、後期高齢者の医療保険制度を市町村単位から都道府県単位に広域化することにより、財政基

盤の強化を図り、安定した制度運営を行うことを目的としています。新潟県後期高齢者医療広域連合は、平成19年3月1日に県内すべての市町村が加入し設立しました。

《広域連合と市町村が行う主な事務》

	広域連合	市町村
被保険者に関すること	被保険者の認定・資格管理 保険証の交付 など	被保険者の加入、脱退の届出の受付 保険証の引渡し など
保険料に関すること	保険料率の決定 保険料の賦課 減免や減額の決定 など	保険料の減免申請の受付 保険料の徴収事務 など
給付に関すること	療養費の支給（高額療養費） など	療養費等の申請受付 など

《後期高齢者医療制度の仕組み》



パブリックコメントを募集します 新潟県後期高齢者医療広域連合広域計画(案)

健康保険法の一部改正により、平成20年4月からすべての75歳以上（一定の障がいのある人は65歳以上）の人を対象にした、新たな医療制度「後期高齢者医療制度」が実施されます。この制度を運営する新潟県後期高齢者医療広域連合では、広域連合と各市町村が後期高齢者医療制度を適切かつ円滑に行うため、広域計画（案）を作成しました。この計画（案）について、パブリックコメントを募集します。みなさんのご意見をお寄せください。

- ◆意見の募集期間：平成19年9月10日(月)～10月9日(火)（必着）
- ◆資料の閲覧場所：本庁介護国保課・各支所市民生活課、または広域連合ホームページ（<http://www.niigata-kouiki.jp>）
- ◆意見の提出方法：
 - ①郵便 〒950-0965 新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館本館内
 - ②FAX 025-285-3315
 - ③電子メール (jim02@niigata-kouiki.jp)
- ◆その他：パブリックコメントの結果の公表は、10月下旬に本庁介護国保課・各支所市民生活課での閲覧・配布及び広域連合ホームページで行います。
- ◆提出・問合せ：新潟県後期高齢者医療広域連合 総務課企画係 ☎025-285-3221

定住して農業を目指す人への
農作業指導も行われています



創ろう！自分の田舎とおかまち 交流・定住のための相談窓口開設

地域や環境により、人々が思い描く「理想の田舎（ふるさと）」は、それぞれ異なります。この「創ろう！自分の田舎とおかまち」は、市民や十日町市を訪れた人が「自分の田舎（ふるさと）」を自分たちで創っていくことを支援するプロジェクトです。十日町市にある豊富な資源や伝統を生かしながら、より親しみがあり活力ある「田舎（ふるさと）」づくりを目指す人や地域・団体に向けて、市では相談窓口を開設しました。

- 市内には「人との出会い」をキーワードに、さまざまな取り組みを行っている地域や団体が数多くあります。また、やってみたいけど、何から始めたらよいのか悩んでいる地域もあるかと思っています。
- すでに交流活動などに取り組んでいる皆さんも、これから取り組もうと計画している皆さんも、気軽に相談してください。
- ### 相談内容例
- ① 地域のお祭りやイベントにもっと人を呼んで盛り上げたい
 - ② 農作業や集落の作業を手伝って
 - ③ 地域で取り組んでいる体験交流事業にもっと人を呼びたい
 - ④ 地域にある資源（田畑・空き家等）を生かして交流したい
 - ⑤ たくさんの人に出会って地域を盛り上げたい
 - ⑥ 地域の景観を守るために人手が足りない
 - ⑦ 地域で作っている特産品の販路を広げたい など
- ※ここでのいう取り組みとは、都会の人たちだけではなく、市内間でのさまざまな取り組みも考えています。

問合せ・受付窓口

「創ろう！自分の田舎とおかまち」
プロジェクト事務局（本庁 総合政策課内）
〒948-8501 十日町市千歳町3-3
☎757-3193 FAX752-4635
Eメール：th-sogo@city.tokamachi.niigata.jp
URL：http://www.city.tokamachi.niigata.jp/

「創ろう！自分の田舎とおかまち」では、交流・定住・Uターンに関するさまざまな情報を、Eメールで発信しています。希望する人は、Eメールで「情報メール希望」と記載のうえ、プロジェクト事務局に送信してください。

※Eメールの配信は、いつでも中止できます。

※登録されたEメールアドレスは、「創ろう！自分の田舎とおかまち」に関するEメールの配信以外には使用しません。

天ぷら油(廃食油)のリサイクルを始めます

市では9月20日(木)から、家庭で不用となった天ぷら油（廃食油）の回収を行います

【天ぷら油（廃食油）のリサイクルの効果】

- 廃食油は、市内の業者がBDF（軽油代替燃料）にリサイクルします。それにより、
- ①BDFは、軽油と比べ地球温暖化の原因となる二酸化炭素が少なく、大気汚染の原因となる黒鉛は3分の1です。酸性雨の原因とされる硫酸化物もほとんど発生しません。
 - ②軽油の代わりにBDFを使用することで、天然資源の使用量を削減できます。
 - ③油が焼却ごみとして出されなくなることで、焼却ごみの減量になります。
 - ④廃食油20mlが河川などに流れると、それを浄化するために風呂桶で20杯もの水が必要といわれています。リサイクルすれば水環境の負荷が軽減されます。

- 回収日**：9月中旬～12月中旬の毎週木曜日 午前8時30分～午後5時30分
（9月20日・27日、10月4日・11日・18日・25日、11月1日・8日・15日・22日・29日、12月6日・13日）
※冬期間は回収しません
- 回収場所**：市役所本庁、本町分庁舎、川西支所、松代支所、中央公民館、地区公民館（下条・中条・川治・水沢・吉田）※中里・松之山支所では回収は行いません。
- 回収方法**：ペットボトルなどの容器に不用となった廃食油を入れ、回収場所のポリ容器にこぼさないように入れてください。使用したペットボトルは燃やすごみとして出してください。
- 注意事項**：
 - ①カスなどの異物は、紙でこすなどして取り除いてください。
 - ②回収する油は植物性（パーム油除く）の廃食油に限ります。動物（ラード）・鉱物（石油、機械油など）系の油は回収しません。
 - ③一般家庭が対象です。事業者から排出される廃食油は回収しません。
- その他**：回収拠点となる店舗・事業所を募集します。ぜひご協力ください。
- 問合せ**：市民生活課環境政策室環境企画係 ☎757-3740、内線157



環境にやさしい廃食油のリサイクルに、ぜひご協力ください。

部 門	作 品 規 格 （大きさ）
第1部 日本画	額ぶち付きのこと（100号程度まで）
第2部 洋 画	油絵・水彩・パステルなど、額ぶち付きのこと（8号～100号）
第3部 版 画	額装（ドライマウントは不可）。モノタイプ版は除く（長辺116cm以内）
第4部 現代美術	（常識の大きさを超えないこと）
第5部 彫 刻	（常識の大きさを超えないこと）
第6部 工 芸	染・織・焼物・つる・漆・草・竹・わら・紙工芸など（縦・横・高さとも200cm以内）
第7部 書 道	額装または枠張り表装（縦額は幅76cm以内、縦182cm以内。横額は幅152cm以内、縦76cm以内）※釈文票は楷書ではっきり記入すること。ペン書き・ワープロなど可
第8部 写 真	木製パネル張り。額ぶち不可（単写真は全紙以上、全倍まで。組写真及び全倍パネルの大きさは長辺103cm以内）

- 会期**：10月20日(土)～23日(火)
- 会場**：市民体育館
- 出品作品**：各部門とも1人2点以内。未発表作品に限る。額装する場合はガラス不可
- 出品料**：
 - ▼一般：1点1,000円、2点1,500円
 - ▼高校生以下：1点500円
- 作品搬入出**：
 - ▼搬入：10月16日(火)午前11時～午後8時に会場に持参
 - ▼搬出：10月23日(火)午後4時～
- 募集要項**：各公民館、情報館に配置
- 問合せ**：中央公民館 ☎757-5011
- 審査会**：10月17日(水) 30分～6時30分
- 授賞**：市展賞（賞金3万円）、奨励賞（同1万5千円）ほか
- 審査員**：杉森企観明氏（日本画・洋画・版画）、村井浩氏（現代美術・彫刻・工芸）、岡村鉄琴氏（書道）、木村恵一氏（写真）

第40回十日町市美術展作品募集



10月1日から「緊急地震速報」が開始されます

「緊急地震速報」は、震源に近い観測点で地震を検知し、直ちに震源や地震の規模などを推定し、大きな揺れが迫っていることをお知らせするもので、10月1日からテレビ・ラジオによる放送を含め、広く一般への提供が開始されます。この情報を見聞きし、大きな揺れが始まる前に防災行動をとることにより、地震被害の軽減が期待されます。

緊急地震速報を有効に活用し、身の安全を守るためには、情報を受けたときにどのように行動すれば良いのかを理解しておくことが重要です。以下の例を参考に、日ごろからどのように対応したらよいのか確認しておきましょう。

※緊急地震速報による情報の提供から大きな揺れが始まるまでは、長い場合でも数十秒程度であり、震源に近いところでは、情報の提供が主要動の到達に間に合わない場合もあります。

＜緊急地震速報を見聞きしたときの具体的な対応行動＞

- 家庭では…**
 - 頭を保護し、大きな家具からは離れ、丈夫な机の下などに隠れる
 - あわてて外へ飛び出さない
 - その場で火を消せる場合は火の始末をし、火元から離れている場合は無理して消火しない
 - 扉を開けて避難路を確保する
- 不特定多数の人が出入りする施設では…**
 - 基本的には施設の従業員などの指示に従う
 - あわてて出口・階段などに殺到しない
 - その場で頭を保護し、揺れに備えて身構える
 - 吊り下がっている照明などの下から退避する
- 屋外では…**
 - ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒に注意し、これらのそばから離れる
 - 壁・看板・割れたガラスなどの落下に備えビルのそばから離れる。丈夫なビルのそばであればビルの中に避難する
- 自動車運転中は…**
 - 後続の車が情報を聞いていない恐れがあることを考慮し、あわててスピードを落とさず、ハザードランプを点灯するなどして、まわりの車に注意を促したのち緩やかにスピードを落とす
 - 大きな揺れを感じたら、できるだけ安全な方法により道路状況を確認して安全な場所に停止する
- 鉄道やバスに乗車中は…**
 - つり革、手すりなどにしっかりつかまる
- エレベーターを利用中のときは…**
 - 最寄りの階で停止させ、速やかにエレベーターから降りる

緊急地震速報の詳細などについては、気象庁ホームページ（<http://www.jma.go.jp>）をご覧ください。

●問合せ 新潟地方気象台防災業務課 ☎025-244-1703

生まれ変わりました 川西支所庁舎

8月27日(月)、市役所川西支所で、田口市長ほか関係者約70人が参加して川西支所庁舎震災復旧事業のしゅん工式が行われました。

平成16年の中越大震災で大きな被害を受けた川西支所庁舎は、昭和33年建築の部分(720.36㎡)を規模を縮小して建て替え、昭和46年増築の部分(811.20㎡)を耐震補強をすることで、装いも新たによみがえりました。建て替え部分の延床面積は294.70㎡、鉄骨造地上2階建(一部5階建)で、耐震改修は、補強が必要となった部分を取り壊して耐震壁としたほか、ひび割れか所を修復し、内・外壁を改修しました。また、災害時用の自家発電機も設置し、これらを含めた総事業費は3億1,003万円です。

午前8時、庁舎前でテープカットが行われると大きな拍手がわき上がり、業務を開始した真新しい庁舎に早速市民が訪れていました。



川西支所	4F 多目的会議室	研修室
	3F 地域振興課 農林課	建設企業課
2F 正面玄関	市民生活課	健康福祉課
1F 車庫	宿日直室ほか	地域活動室
改築部分	耐震補強部分	保健センター 活性化センター



意見を述べる田口市長。左手前から2人目が牧野病院局長

8月29日(水)、十日町地域中核病院と松代病院のあり方などについて県と市で協議する第1回「十日町病院等の医療提供体制に関する協議会」が市役所で行われました。

県からは牧野病院局長、市からは田口市長をはじめ、それぞれの担当職員が出席してこれらの協議の進め方などについて話し合いました。その結果、次のことが決まりました。

- ①十日町・中魚沼地域の医療提供体制の中で、十日町病院や松代病院が今後果たすべき役割などについて、専門的な立場から検討し、協議会の協議に資する提言を行うため、医療・福祉などの関係者や住民の代表と行政で組織する検討会を設ける。
 - ②検討会は、約一年かけて地域に必要な医療などについて検討し、報告書にまとめる。
 - ③協議会は、検討会の報告書を踏まえて十日町病院と松代病院の医療提供体制などについて協議し、十日町病院、松代病院の「基本構想(案)」を策定する。
- これに基づき、10月中旬に第1回の検討会を行う予定です。検討会や県との協議の中で、地域の皆さんが安心して生活できる医療体制の構築に向けて取り組んでいきますので、皆さんのご理解、ご協力をお願いします。
- 問合せ 健康支援課十日町病院建設推進室 ☎757-3187

参加者募集!

水辺の楽校

今年で6回目を迎える水辺の楽校。小・中学生を対象に、信濃川の水生生物や植物・昆虫・野鳥の観察会を行います。お昼にはとん汁のサービスあり!多くの皆さんの参加をお待ちしています。

信濃川について楽しく学ぼう

日時 9月30日(日)午前10時～(9時30分集合)
(妻有大橋右岸たもと)
参加費 小学生以上:200円(当日徴収)
観察ガイド代:1冊400円(希望者のみ)

楽習コース ①昆虫観察コース ②植物観察コース
③水生生物観察コース ④野鳥観察コース

講師 水辺の楽校活用協議会(博物館友の会植物研究グループ、日本自然保護協会自然観察指導員、十日町野鳥の会、市立理科教育センターほか)

申込み・問合せ 水辺の楽校活用協議会事務局(克雪維持課克雪利水係内) ☎757-3198(内線273)



第3回 市民スポーツ大会

10月8日(体育の日)を中心に市民スポーツ大会が開催されます。秋の一日、さわやかな汗を流しましょう!

期 日	大 会 名	会 場	問 合 せ
9月30日(日)	宮沢杯・小山杯争奪バスケットボール競技会	総合体育館	藤 巻 裕 757-3115
10月6日(土)~8日(月)	少年野球大会・400歳野球大会	笹山野球場・総合公園野球場・信濃川野球場	小 林 聡 757-3115
10月7日(日)	フットサル大会	当間高原リゾートベルナティオフットサルコート	高 橋 重 成 752-3555
	テニス(シングルス)大会	総合公園テニスコート	堀 好 司 756-2721
	第41回ババママバレーボール大会	市民体育館	高 橋 伸 夫 757-1465
	第43回市民体操競技大会	十日町高校東体育館	柳 善 信 768-3062
	ソフトテニス大会	信濃川運動公園テニスコート	櫻 澤 晋 介 758-3278
	ソフトボール大会	信濃川運動公園野球場A・C	高 澤 政 弘 090-4833-1512
	市民ハイキング	浅草岳	大 島 和 弘 752-3483
10月8日(体育の日)	2007十日町RUN・ランリレーカーニバル	陸上競技場	宮 沢 邦 元 757-3198
	卓球大会	川西総合体育館	高 橋 博 夫 752-6274
	第36回郡市柔道大会	武道館柔道場	村 山 潤 752-2445
	第23回ジュニアバドミントン大会	総合体育館	飯 塚 聖 一 758-2662
	秋季市民剣道大会	武道館剣道場	田 川 正 幸 757-2625
	空手道競技会兼第4回西野杯争奪空手道大会	十日町総合高校体育館	西 野 弘 幸 757-8339
	第3回市長杯争奪ゲートボール大会	水沢運動公園ゲートボール場	小 海 勝 衛 757-6075
10月13日(土)	第13回まつのやま湯鳥駅伝大会	松之山クロスカントリーコース	松之山公民館 596-2265
10月14日(日)	第22回中里健康ウォーク兼第11回ミオンウォーク	中里地域内12.5kmコース	中里公民館 763-2493
10月17日(水)	第12回川西ソフトバレーボール大会	川西総合体育館	川西公民館 768-2308
10月21日(日)	相撲競技大会	武道館相撲場	福 原 忠 之 090-4930-2819
	市民バドミントン大会	十日町市総合体育館	飯 塚 聖 一 758-2662

湯コーマイ心ハート

まつのやま

松之山支所
☎596-3131

安心・安全の松之山温泉をめざし 松之山温泉街で総合訓練実施

8月28日(火)、松之山温泉街で湯本合同総合訓練が実施されました。松之山温泉組合では、毎年この時期に総合訓練を実施していて、今年で4回目になります。

この日は温泉旅館関係者や住民、消防団など約200人が参加し、午前10時30分、「松之山地内を震源とするマグニチュード6・5の直下型地震が発生」という想定で訓練開始。「大きな地震が発生しました」の放送



とサイレンの合図で、各旅館では宿泊客を誘導する避難訓練が行われ、柳一成松之山温泉組合長に避難状況が報告されました。その後の救出救護訓練では、AEDを使った救急講習も行われ、旅館の女将や従業員などが消防署職員の指導のもと、人工呼吸や心臓マッサージなどに真剣に取り組んでいました。また、子どもたちに火の大切さを知ってもらおうと「火おこし体験コーナー」が設けられ、参加した子どもたちは汗ビッシヨリになりながら道具を使って火おこしに挑戦していました。

このほか、温泉センターからの出火を想定した火災通報訓練と放水訓練を実施。放水訓練では、地元消防団による自動車ポンプ操作が披露され、団員のきびきびとした動作に大きな拍手が送られていました。柳温泉組合長は、「これからも総合訓練を実施し、安全と安心の松之山温泉をめざしたい」と話していました。

かわい新聞

川西支所
☎768-3111

「川西地域のこれからのくらしを考える ワークショップ」始まる

川西地域協議会では、川西地域振興計画を策定するため、8月から9月上旬にかけて「川西地域のこれからのくらしを考えるワークショップ」を開催しました。これまでに聞き取り調査を行った各地区や各種団体、地域協議会委員、支所職員が参加し、「地区」「福祉」「文化・スポーツ・地域活動」「産業関連」などテーマ別に

合計4回行われ、聞き取り調査のまとめ報告と、それらを基にさらに意見を出し合い、各地区や各種団体が抱えるさまざまな課題について協議をしました。暮らしや活動の状況がそれぞれ異なる中で、「日常の暮らしや活動のための交通手段が不自由だ」「自分たちのまちづくりにつ



いて考える良い機会だ」など活発な意見交換が行われました。

10月中旬には、川西地域の住民であれば誰でも気軽に参加できる「市民ワークショップ」を開催します。これまでに出了れた課題をさらに具体的に検討し、それぞれが抱える課題を川西地域全体の課題として共有していきます。開催日については、今後川西地域協議会で発行する「これからのくらしを考えるワークショップ便り」でお知らせしますので、皆さんの参加をお待ちしています。

川西地域振興計画についての意見・質問は、川西支所地域振興課自洽振興係(☎768-4951)にお寄せください。

特色ある地域の教育ネットワーク 「教員里山学会」開催



8月23日(木)、「理数大好きモデル地域事業」の一環として、松之山自然休養村センターで教員里山学会が開催されました。この事業は、子ども

たちの理科や算数への好奇心や探究心を高めることを目指し、松之山・松代地域の全小中学校・公民館・森の学校キヨロロ・農舞台などが一丸となつて進めているものです。この日は、小中学校の教職員など60人が参加。キヨロロ学芸員などの研究成果を学ぶとともに、2学期以降の具体的な連携についても話し合われました。

盛大に浦田地区芸能祭

8月26日(日)、浦田小学校体育館で第21回浦田地区芸能祭が開催されました。地域をあげて芸能を楽しもうと始まった祭りは、歌あり、踊りあり、寸劇ありと今年も芸達者が勢揃い。仮装した女性たちの華やかな踊りや小・中学生の力強い太鼓演奏、小学生の助さんと格さんをお供に黄門様が登場する劇など、会場を沸かせました。「みんなで唄おう」では、観客も参加して「ふるさと」や「松之山町民歌」を大合唱。竹内清司実行委員長(湯之島・70歳)は、「早くから練習し、みんなが頑張りました。多くの人が楽しみにしているので、これからも開催していきたい」と話していました。



舞台上で繰り上げられる熱演や熱唱に、観客からは最後まで大きな拍手が送られていました。

大地の祭りワークショップ 瀬替の里小脇・夏の学校

8月4日(土)・5日(日)に小脇集落の小学校跡地で「瀬替の里小脇・夏の学校」が開催されました。作家をはじめ、学生やこへび隊、親子連れ、地元の人など2日間約60人が参加し、昨年の大地の芸術祭で小脇集落に設置された作品「再生・海そして川から」で使用された流木を再利用して作品を作りました。



形の流木を生かして椅子やテーブル、一輪挿し、家などを制作。完成後には発表会が行われ、参加した子どもたちは、工夫したところや苦労した点など、照れながらもうれしそうに自分の作品を披露していました。

昼食会では、参加者と地元の人との交流会が行われ、巨大な鉄板で作られたスペインの家庭料理「バエリア」や地元の女性たちが作った鯨汁が振る舞われました。暑い日に野外で食べる料理は格別」と皆さん大満足でした。

毎年恒例！川西秋まつり



9月2日(日)
千手神社秋季大祭 大福まき大会



9月2日(日) 小白倉もみじ引き



吉楽 未乃梨ちゃん きらみ のりちゃん
平成17年10月7日生まれ
田中

3人兄妹の末っ子でお魚料理が好物のみのちゃん、テレビの「いないいないばあ」と絵本を見るのが大好きです。“早く大きくなってたくみお兄ちゃん、あかりお姉ちゃんといっしょに遊びたいな”



27



村山 楓太ちゃん むらやま ふうたちゃん
平成18年6月14日生まれ
妻有町西1・2

何にでも興味津々のふうちゃんにとって、お家の中のもの全てがふうちゃんのおもちゃです。パワフルな運太お兄ちゃんに日々鍛えられているふうちゃん。大好物はおばあちゃんが作るミニトマトです。

ときめき ネットワーク

27

1日1日が勉強です！

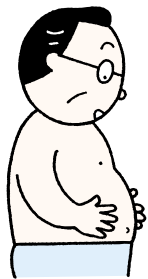
人間味あふれる社長の人柄にひかれて今の会社に入りたいと思いました。大学の教授が言っていた「就職したら、始めに人間相手に一番苦労する営業を経験しなさい。その苦労は無駄にはなりません」という言葉を教訓に、今は営業を担当しています。仕事は楽しいです。学生気分が抜けなくて、お客さんに対しての言葉遣いなどでよく注意されますが、職場の人たちは優しく温かい。それに常識や作法で学ぶことだらけです。社会人として自分も成長しなきゃっていつも思っています。目標は、行政書士と宅地建物取引主任者の資格を取ること、人に頼らずに自分の満足いく仕事をやり遂げることです。

十日町はのんびりしていて好きですね。温泉が好きなので近くの温泉にはよく行きます。中学校のときから続けている大好きなバスケットで汗を流したあと、温泉でゆっくり、なんて最高ですよ！



池田 隼哉 さん
1983年生
㈱サンウッド新潟勤務

先月の丸山千尋さんからバトンタッチ。



日常生活の中の運動量は、機械化・省力化などによって急激に減少し、運動不足の人が増加しています。

十日町市が平成18年度に実施したアンケートによると、運動習慣を持つ人の割合は27%と低く、市民の約4分の3の人が運動習慣がないことがわかりました。市では、次の目標を掲げて、皆さんが運動を習慣化できるよう支援していきます。

健康とおかまち21 シリーズ⑤

「身体活動・運動」

元気予報



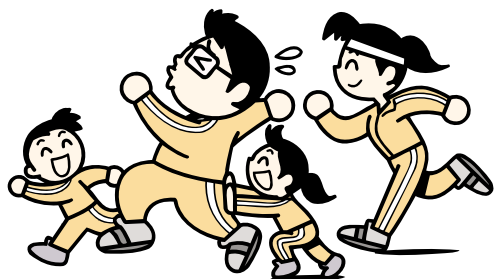
問合せ 健康支援課成人保健係
TEL757-3719（内線125）

〈重点目標〉
1週間に2回、30分以上運動する人の割合を高める
（現状値27%↓目標値23年度35%）

日ごろから運動に取り組んでいて体力や筋力が高い人は、生活習慣病の発症率が低いことが分かっています。また、骨粗しょう症や骨折の予防のためにも、運動を継続して行うことが大切です。

〈運動を实践するための取り組み〉

市民一人ひとりが運動を実践できるよう、次の取り組みを勧めめています。



〈安全に運動をするために〉
運動を行う時は、服装やその日の体調などに注意しましょう。特に持病がある人は、運動をする前にかかりつけの医師に相談してから行いましょう。

- 1週間に2回、30分以上の運動をしましょう
- こまめに歩きましょう
- 日常の動作も「運動になる」と意識して、からだを動かしましょう
- 自分に合った運動を見つけ、長く続けましょう
- 積極的にスポーツ行事、レクリエーション活動に参加しましょう

光ケーブルネットワークで 地域が変わる

VOL.31

◆問合せ◆
総務課政策推進室
地域情報政策係
☎757-3196

連携事業者の提案内容(5)

今回は、携帯電話の不感地域の解消についてお伝えします。

なお、提案内容の概要は今後協議する中で一部変更されることがあります。

携帯電話不感地域の解消について

現在市内には、携帯電話の電波が1波も受信できない、いわゆる「不感地域」が31集落あります。携帯電話事業者は電波鉄塔建設に多額の投資をしなければならぬことと、利用者の少ない地域では多額の光ケーブル利用料を料金収入で賄うことができないという理由から、なかなか整備が進まない状況にあります。

市では、昨年から市内携帯電話電波受信状況調査を年数回実施し、不感地域や電波の受信改善状況を市のホームページ上で公開しています。

（市のホームページ↓「まちづくり」↓「高速情報通信」↓「携帯電話受信状況の市単独調査結果」）

◆実施方法

不感地域の解消は、携帯電話事業者にサービスを提供してもらわないと実

現できません。市が敷設した地域インターネットや今回の事業で整備する光ケーブルの余剰線を携帯電話事業者に安価で貸し出すことにより、不感地域をできるだけ解消するよう携帯電話業者に要望します。この手法については、既に全国各地で実績があります。

また、鉄塔建設についても、国の補助金・交付金や県の補助金を活用しながら携帯電話事業者の参入を促します。

◆そのほかの手法について

携帯電話事業者へは100%のサービス提供を促しますが、数世帯しかない集落ではサービスを受けられないことも予想されます。このような携帯電話の電波が受信できない世帯へは、固定電話の子機として電話が受けられるようなFMCや半径10m程度と限られた建物内などで受信可能となるフェムトセルというサービスなどが近々開始される予定ですので、これらの手法も含めて受信を可能にします。

※提案事業者の提案内容については今回で終わります。

※次回は地域情報化推進のスケジュールについてお知らせします。



2009年 十日町市で全国棚田サミット開催決定

8月24日(金)・25日(土)の2日間、栃木県茂木町で「第13回全国棚田『千枚田』サミット」が開催され、田口直人市長及び松代・松之山地域の農家など25人が参加しました。棚田サミットは、棚田の役割を見直し保全することで、環境や国土の保護と農村文化を考えていこうというもので、平成7年に第1回サミットが開催されました。今回のサミットでは、農林水産副大臣及び栃木県知事、自治体関係者や農家など約1,000人が参加し、それぞれの棚田保全の取り組み事例や現地視察などが行われました。また、今回行われた協議会総会で、平成21年に同サミットが十日町市で開催されることが正式に決定し、今後市内での受入れ体制が整えられていきます。

在来植物を守ろう！

9月1日(土)、水辺の楽校つまりつ子広場で、特定外来植物「アレチウリ」の駆除作業が行われました。これは、広場に生息する草花や小低木を覆い生育を妨げるアレチウリから在来植物を守るために、水辺の楽校活用協議会主催により毎年この時期に開催されているものです。この日、早朝6時30分から開始された作業には、十日町信濃川愛護組合等連合会など9団体から53人が参加。大きく成長し木々の幹や枝まで繁茂したアレチウリを、約1時間かけて駆除しました。



やきもの展 ～縄文から妻有まで～

博物館では、8月25日(土)から夏季特別展「十日町市のやきもの～縄文時代草創期、火焰型土器、そして妻有焼へ～」(博物館友の会・信濃川火焰街道連携協議会共催)を開催しています。館内の特設会場には、笹山遺跡出土の火焰型土器群や、旧中里村久保寺南・干溝遺跡に代表される縄文時代草創期の土器群など約140点を展示。1階ホールには、作家吉田明氏によって誕生した「妻有焼」の作品42点も展示されています。また、関連イベントとして、9月1日(土)に原田昌幸氏(文化庁文化財調査官)を招いての記念講演会が行なわれたほか、15日(土)には吉田明氏による七輪陶芸のワークショップも開催されます。特別展は、9月24日(月)まで行われてます。



まちの話題 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、総務課広報広聴係 ☎757-3112(内線213)へ、お気軽にお寄せください。

tokamachi topics

tokamachi topics

第4回きものの街のキルト展

9月16日(日)～30日(日)



街のあちこちにキルトサークルの作品が展示されます。キルトで飾られた街並みをゆっくり鑑賞してみませんか。

◆キルトサークル作品展示 (約90か所)

- 会場：中心市街地商店街(本町通り、駅通り、コモ通りほか)
- 入場料：無料

◆'07きものの街のキルトコンテスト作品展示

- 会場：キナーレ多目的ホール
- 入場料：無料

◆特設展：原田泰治の世界をキルトで遊ぶ作品展

9月16日(日)は画家原田泰治氏が来館します。

- 期日：9月16日(日)～10月16日(火)
- 会場：キナーレきもの歴史館
- 入場料：大人500円、中学生100円、小学生以下無料

- ◆問合せ：「きものの街のキルト展」実行委員会事務局
(十日町観光協会内 ☎757-3345)

今年も広島、長崎へ

十日町市と原水爆禁止十日町市協議会では、今年も広島市派遣団として、8月5日(日)から7日(火)まで、羽鳥輝子団長ほか南中学校・川西中学校の生徒10人を含む16人を広島市へ派遣しました。6日(月)には原爆死没者慰霊式・平和祈念式に参列し、広島市や広島赤十字・原爆病院などに義援金を届けました。また、長崎市にも8月8日(水)から3日間、松代中学校の生徒2人を含め6人を派遣しました。参加者の感想文は、会報「十日町市原水協」に掲載しましたのでご覧ください。



エクササイズにも品格が：

9月1日(土)、クロス10で約300人が参加して第6回十日町地域糖尿病予防ワークショップ(同実行委員会主催)が行われました。かわにし夢きゃらばんによる健康劇「エクサの品格」や日常ながら運動推進協会代表の長野茂氏による特別講演「日常ながら運動でメタボリックシンドロームの予防・改善！」、十日町地域の運動指導士ほかによるプレゼンテーション、展示・相談コーナーなどのメニューが用意され、参加者は、楽しく健康や運動について学んでいました。

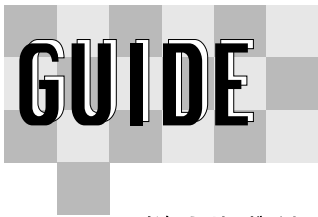
全国大会出場＆入賞！

8月17日(金)、市役所で各種全国大会の出場選手報告及び激励壮行会が行われました(敬称略)

- 第34回全日本中学校陸上競技選手権大会(8月20日(月)～23日(木)宮城県利府町)：大熊耀平(吉田中)、相馬由佳(川西中)、佐藤里奈(中条中)
- 第75回日本高等学校選手権水泳競技大会(8月17日(金)～20日(月)佐賀県佐賀市)：樋口久美香(長岡大手高 下条中出身)

この大会で、相馬由佳さんが走り高跳びで見事5位入賞を果たしました。相馬さんは、「予選で落ちると思っていたので、入賞できてうれしいです」と話していました。





お知らせ・ガイド

市役所 TEL 757-3111



交通安全都市宣言 交通安全パレード

秋の全国交通安全運動（9月21日（金）～30日（日））に合わせて、市は交通安全都市宣言をし、市内中学校吹奏楽部などによるパレードを行います。●日時 9月22日（土）午前10時～●経路 キナレ～本町通り～駅通り●問合せ 市民生活課環境政策室生活環境係（内線158）

青級ホームフェスティバル

公民館の青級ホームで勉強していることを小学生に楽しく指導します。●日時 9月23日（秋分の日）午前9時～11時30分●会場 中央公民館●内容 ①パソコン ②ミニドラマ ③やきもの

の中から1つ選択●対象 ①4年生以上 ②3年生以上●参加費 ①500円 ②100円 ③300円●定員 ①15人 ②10人 ③30人●申込み・問合せ 9月19日（水）までに中央公民館（☎757-5011）

認知症予防講演会

●日時 10月3日（水）午後1時30分～3時30分●会場 千年の森ホール●参加費 無料●内容 講演「認知症（呆け）は防げる・治せるーボケない地域づくりの実現ー」高槻絹子氏（エイジングライフ研究所副所長）●問合せ 川西支所健康福祉課（☎768-4957）

妻有街道歩け歩け大会

妻有郷から三国峠越えの街道を歩いてみませんか。イモ掘り、ざるそば、山賊汁付き。●日時 10月7日（日）午前9時出発（受付8時30分）※小雨決行●コース 市役所前～六箇～栃窪峠（約18km）※帰りはバス●参加費 大人1,800円、中学生以下1,000円※当日徴収●定員 200人●申込み 9月30日（日）までに総合体育館（☎752-4377）または各公民館●問合せ 六箇体育協会事務

局・小杉（☎757-0557）

第2回オータムコンサート

●日時 9月16日（日）午後2時～●会場 千年の森ホール●入場料 大人1,000円（当日1,500円）、高校生以下無料●出演 フルートアンサンブルオイレン、五十嵐正子さん（オカリナ）●チケット取扱 中央公民館、川西公民館、市内楽器店●問合せ 千年の森楽友協会・高橋（☎768-4817）

竹鼓舌ライブ2007

ちこたん 手作り竹楽器と声のセッションです。●日時 9月24日（月）午後3時～（開場2時30分）●会場 千年の森ホール●入場料 大人3,000円、中学生以下500円●曲目 「コンドルは飛んで行く」「テルーの唄」ほか●チケット取扱 イトー楽器●問合せ イトー楽器（☎757-6307）

夜間簿記講習会

基本から商工会議所簿記検定3級程度の実力を養成します。●日時 10月1日（月）～11月12日（月）午後7時～9時（全18回）●会場 十日町商工会議所●受講料 8,200円※会議所会員

タジウム●応募条件 市内在住者●募集人数 500人●応募方法 ①往復はがきに ①10月6日大宮アルディージャ戦 ②住所 ③氏名・年齢 ④電話番号 ⑤チケットの希望枚数（3枚まで） ⑥後援会資料請求有無を記載●申込み・問合せ 9月25日（火）まで（必着）アルビレックス新潟後援会「試合観戦ご招待」係（〒950-0954 新潟市中央区美咲町2-1-10 ☎025-282-0011）



食育スキルアップ研修 参加者募集

●日時 10月6日（土）午前10時～午後3時●会場 県農業大学校研修センター（新潟市）●対象 小学生以下の児童を持つ保護者及び指導者●参加費 300円●定員 30人●内容 収穫体験、調理体験ほか●申込み・問合せ 9月21日（金）までに農林課農業企画係（内線246）

ほくほく線元気まつり ボランティアスタッフ募集

よさこいと松代のそばをたん

県職員募集

20年4月1日以降採用の職員を募集します。●募集職種・人数 ①専門看護師2人●受験資格 ①昭和47年4月2日以降に生まれた人で、専門看護師として認定登録されている人または22年3月31日までに認定登録見込みの人※認定登録見込みの人は要件有り●募集締切 9月21日（金）（当日消印有効）●申込み・問合せ 受験申込書（問合せ先に配置）などを県病院局総務課職員係（☎025-280-5554）

（福）妻有福祉会職員募集

20年4月1日採用の職員を募集します。●募集職種・人数 ①支援員2人●受験資格 ①昭和52

あてま森のフォーラム

森の中の遊びや生き物のお話、バームクーヘンづくり、オカリナ演奏で楽しみましょう。

日時 9月23日（秋分の日）午後1時～4時
会場 ベルナティオ「ふれあい広場」
※雨天時：フォーラムセンター

参加費 無料
講師 平野 篤さん（東京電力）ほか
演奏 五十嵐正子さん（オカリナ）ほか
曲目 「ピリブ」「さんぽ」ほか
その他 当日参加可。ただし、団体の場合9月21日（金）までに申し込みください。

問合せ 観光交流課 ☎757-3100



7,200円●定員 先着30人●講師 樋口紘一氏（川西高校キャリアアップサポーター）●その他 ①受講後に修了証授与、日商簿記検定試験は11月18日（日）●申込み・問合せ 9月14日（金）までに、申込書（問合せ先に配置）に受講料を添えて十日町商工会議所（☎757-5111）

地域ふれあいフェア 中条病院祭

●日時 9月22日（土）午前9時30分～午後2時30分●会場 中条病院・介護老人保健施設きたはら●参加費 無料●内容 講演「認知症にならないために」（須



新潟アルビレックスBB プレシーズンゲーム 十日町大会

バスケットボール新潟アルビレックスBBが富山グラウジーズを迎えてプレシーズンゲームを行います。●日時 10月7日（日）午後2時●会場 総合体育

平成19年度 秋季消防演習（地区及び方面隊日程表）

地区名（分団名）	日時	場所
下条地区 第11分団	9月9日（日） 午後1時～	下条小学校
中里方面隊	9月9日（日） 午前8時～	中里中学校
水沢地区 第12分団・第13分団 第14分団	9月16日（日） 午前8時～	水沢小学校
川西方面隊	10月7日（日） 午後1時～	千手小学校
十日町地区 本部分団・第1分団 第2分団・第3分団 第4分団	10月21日（日） 午後1時～	つまりっこ広場
吉田地区 第9分団・第10分団	10月21日（日） 午後1時～	吉田中学校
中条地区 第5分団・第6分団 第7分団	10月21日（日） 午後1時～	東小学校
松代方面隊	10月21日（日） 午後1時～	松代総合グラウンド

問合せ 十日町地域消防本部 ☎757-0119

年4月1日～昭和63年3月31日の間に生まれた人で、社会福祉

主事任用資格または介護福祉士の資格を有し、十日町市が津南町在住または居住予定で通勤可能な人※来春資格取得見込み含む。要自動車普通免許●勤務場所 ①（福）妻有福祉会の老人福祉施設●1次試験（一般教養試験） 10月28日（日）●2次試験（面接） 11月25日（日）●申込み・問合せ 10月21日（日）まで（20日（土）消印有効）に、申込書類（問合せ先に配置）を養護老人ホーム妻有

県立上越テクノスクール 受講生募集

アクセス中級コースです。データ加工や印刷フォームを作成します。●日時 10月13日（土）～20日（土）午前9時～午後4時●会場 県立上越テクノスクール●受講料 ①2,400円※別途テキスト代が必要●定員 20人●申込み・問合せ 9月27日（木）までに県立上越テクノスクール

「西小 教育の日」制定特別記念 夢のスペシャルコンサート

十日町市出身のピアニスト・森田佳子さんと、夫でクラリネット奏者・森田利明さんの夢の共演コンサートを開催します。

●日時 9月21日（金）午後2時15分開演
●会場 西小学校体育館
●入場料 無料（一般公開）
●問合せ 西小学校後援会（☎757-9640）

(☎025—545—2190)

小松原水づくりの森
植林ボランティア募集

●日時 9月16日(日)午前8時30分
グリーンプシア津南第2駐車場
集合 午後2時※小雨決行 ●持ち物
スコップ・とうぐわ・草刈道具・軍手・雨具・昼食・飲み物
●申込み・問合せ 〆ふるさとの清津川を守る会事務局 (☎763—3761)

あすなる山の会
里山ハイキング
in 霧ヶ岳募集

会員も募集しています。 ●期日 9月30日(日) ●参加費 2、000円 ●定員 先着20人 ●説明会 9月28日(金)中央公民館 ●申込み 9月12日(水)中央公民館 ●会員申込み・問合せ 〆渡辺 〆午後8時以降受付 (☎757—5641)

きのこ料理コンクール
出展作品募集

●募集作品 〆県内産きのこを使い、おいしく、料理がしやすく、栄養バランスが良いもの ※分量・経費は4人分で2、000円以内 ●審査 〆①書類審査 ②書類審査で選ばれた8人による

新潟県自殺予防キャッチフレーズ
たった一人のあなたです
たった一人の命です

若年者の雇用支援を行うNPO法人 ●問合せ 〆県産業労働観光部 労働課 労働福祉・雇用均等係 (☎025—280—5260) または最寄りの労働金庫

9月 〆新潟県自殺対策推進月間です。 9月10日(月) 〆16日(日)は全国の自殺予防週間でもあります。市や保健所では、「こころの健康相談」や通常の健康相談で本人や家族からの相談を受け付けています。1人で悩まずに相談してください。「身近で悩んでいる人」にどう対応すればいいのかわからない」などの相談も受け付けていますのでご利用ください。

寄付ありがとう

8月25日届出分まで (敬称略)

- 十日町市へ 〆(社)全国市有物件災害共済会 (50,000円) 全国市議会議長会 (50,000円) (株)第四銀行 (300,000円) 十日町平成ライオンズクラブ (50,000円)
- 情報館へ 〆上村政基 (上野) 能代谷麻美子 (寺尾) 高橋亘 (松之山湯本) 庭野勇吉 (高田町3西) ホープ歯科クリニック (寿町2) 新潟大学人文学部 (新潟市) 京馬伸子 (神奈川県横浜) 柳与志晴 (東京都練馬区) 庭野隆雄 (東京都世田谷区)
- 博物館へ 〆阿部恭平 (十日町栄町) 阿部又三 (谷内丑1) 小林正 (田中) 大井田久 (群馬県富岡市)

実演審査 ●表彰 〆最優秀賞1点 (全国大会推薦)、優秀賞・アイデア賞各2点 ※賞品は県産きのこセットなど ●申込み・問合せ 〆9月28日(金)まで (必着に、提案書と完成品の写真を県きのこ消費拡大推進協議会事務局 (〒950—1193 新潟市西区山田2310—15 J A全農にいがた園芸部青果販売課内 ☎025—232—1580)

GUIDE
年金

社会保険庁からのお知らせ

「年金時効特例法」の成立により、時効消滅で受け取ることができなかった分の年金も全期間さかのぼって支払います。 ●対象・必要な手続き 〆①既に年金記録が訂正されている人 〆必要事項を記入した用紙を提出 (用紙は順次発送) ②今後、年金記録が訂正される人 〆記録の訂正手続き以外に特別な手続きはありません ●問合せ 〆六日町 社会保険事務局 (☎025—770—2211)

さい。 ●問合せ 〆健康支援課 人保健係 (内線126)

雇用保険法が変わります

10月1日から、雇用保険法が大幅に改正されます。主な内容は次のとおりです。 ①雇用保険の受給資格要件の一本化 ②育児休業給付率の引き上げ ③教育訓練給付の要件・内容の変更 ④特例一時金の支給日数の見直し ●雇用保険法改正に伴う説明会 ●日時・会場 〆①9月18日(火) 午前10時30分 〆松代町商工会 午後2時 〆川西商工会 ②9月19日(水) 午前10時 〆津南町役場 ③9月21日(金) 午前10時 〆十日町商工会 〆議所 ●問合せ 〆ハローワーク 十日町 (☎757—2407)

GUIDE
その他

9月の国保診療所休診日

●川西診療所 〆9月25日(火)・26日(水)・27日(木) 午前休診、28日(金) 終日休診 ●倉俣診療所 〆9月26日(水) 午後休診 ●松之山診療所 〆9月25日(火)・27日(木) 午後休診

秋の農作業安全運動

市では現在、秋の農作業安全運動を実施しています。毎年この時期にはコンバインなどによる事故や田畑への行き帰り途中での事故が多発しています。常にゆとりを持った作業と運転を心がけ、路肩やほ場の段差に十分注意をして転倒事故などを防ぎましょう。また、農作業に出かける時には、家族や周囲の人に行き先を伝え、1人での作業はできるだけ控えてください。 ●問合せ 〆農林課 農業企画係 (内線246)

不用になった家電製品・パソコンはリサイクルを

不用になったテレビ(ブラウン

郵便局からのお知らせ

10月1日から、十日町郵便局は民営化により次の2つの会社としてスタートします。郵便・貯金・保険 サービスは引き続き同じ店舗で利用できます。 ▼郵便局 〆十日町郵便局 〆貯金 サービスの取扱い (☎752—2392) ・保険 サービスの取扱い (☎757—8872) ・郵便窓口 サービス (どちらの電話番号でも受け付けます) ▼郵便事業 〆十日町支店 〆集荷・配達・再配達の取扱い (郵便番号が948—00××・949—86××の地域 ☎752—2300、その他の地域 ☎752—2231) ●問合せ 〆十日町郵便局 総務課 (☎752—2391)

自動車事故による被害者の皆さんへ

独立行政法人自動車事故対策機構では、自動車事故による被害者への援助を行っています。 ▼交通遺児などへの育成資金貸付 (無利子) 〆自動車事故で保護者が死亡あるいは重度の後遺障害になった家庭には、中学校卒業までの子どもの育成資金を無利子で貸付しています。 ▼重度後遺障害者への介護料支給 〆自

十日町市地域福祉計画策定委員会の
委員を募集します

市では社会福祉法に規定する「地域福祉計画」を策定するため、市民の皆さんの意見を反映した計画となるよう「十日町市地域福祉計画策定委員会設置要綱」を定め、策定委員26人の内8人を公募します。

- ◆募集人数 〆8人
- ◆応募資格 〆市内に住所を有する満20歳以上の人で、地域福祉の推進に関心があり、平日昼間2時間程度の委員会に出席可能な人。
- ◆委嘱期間 〆委嘱の日から平成20年3月31日まで
- ◆委員報酬 〆委員会1回につき 5,500円
- ◆応募方法 〆所定の用紙 (問合せ先に配置) かインターネットEメールで ①氏名及び性別 ②生年月日 ③住所・郵便番号 ④電話番号 ⑤職業 ⑥応募の動機を記入し、福祉課福祉計画係または th-fukushi@city.tokamachi.niigata.jp
- ◆応募期限 〆平成19年9月25日(火)
- ◆選考方法 〆書類審査。結果は応募期限後1週間以内に応募者全員に通知します
- ◆応募者の個人情報については、十日町市個人情報保護条例に基づき適切に取扱います

【問合せ先】 福祉課福祉計画係 内線134

ン管式) ・冷蔵庫 (凍) 庫・エアコン・洗濯機の家電4品目及びパソコンは、資源の有効活用を図るため、法律でリサイクルが義務付けられています。自分で分解し、ごみステーションに出してあることがあります。部品の一部でも収集はできませんのでご了承ください。製品の処分は取扱店に相談してください。

●問合せ 〆環境衛生課 (☎752—3924)

県の貸付金のご案内

県では、生活資金や運転資金、設備資金、つなぎ資金を低利で融資しています。申込みは新潟県労働金庫本店・支店の窓口で相談してください。 ●対象 〆中小企業に勤めている人、県内で

自動車事故による重度の後遺障害を持ち、常時または随時の介護が必要な人に介護料を支給しています。 ●問合せ 〆独立法人自動車事故対策機構 (☎025—283—1141)

県下一斉民事扶助
無料法律相談

資力の乏しい人のための無料法律相談を行います。 ※予約制 ●日時 〆10月2日(火) 午後1時30分 〆4時30分 ●会場 〆新潟・三条・新発田・村上・長岡・高田・佐渡の各地区の協力弁護士・司法書士事務所 ●申込み・問合せ 〆9月27日(木)までに法テラス新潟 ☎050—3383—5420

新潟県へのUターン情報誌を購読しませんか

県では若者のUターンの参考になる情報誌「新潟Uターン情報」を発行しています。県外に暮らす子どものいる家庭に無料で郵送します。 ●内容 〆県内求人動向、説明会などの開催情報 ●発行回数 〆子どもが学生の場合年3回、社会人の場合年1回 ●申込み・問合せ 〆県民生活課 (☎025—280—5112)

よいねだわ

▼記録的な猛暑だったこの夏、国内の観測地点の内、101地点で観測史上最高気温を更新したとのこと。この数年続く異常気象や自然災害で、地球の将来がとて不安になります。ういえば、数年前新潟市でサッカー観戦のときに乗ったシャトルバスは、信号待ちのたびにアイドリングストップをしていて、エンジンが止まったときの静けさに驚いた覚えがあります。同じように、個人単位でアイドリングストップを実行すれば、大気汚染や地球温暖化防止の効果が期待できそう。「車を停めたらエンジンを切る」先ずは自ら実践です。 ▼1日を通し、いつとはなく聞こえていた吹奏楽部の楽器の音も、夏休みの終わりと共に消え、いつもの静かな学校に戻りました。吹く風がもう秋です。

▼祭りが終わると、一気に秋めいたように感じます。子どものころ、出店や神社の奉納相撲に隣集落の祭りまで出かけたものでした。はやしに太鼓、みこしと、あの独特のにぎわいの雰囲気、興に乗る大人の姿も楽しいものでした。あの雰囲気は今、大人になった我々が演出しなければなりません。年々人口が減る中にあることも途絶えさせられない地域の一大行事だからです。 ▼時代が変われば興味の対象も変わること。祭りの広場に集まる子どもたちの多くは片手に携帯ゲーム機。私たちが感じていた祭りとは、イベントとして楽しみの感じ方が違うのかも知れませんが、夏休み明け間近、宿題そっのけで遊びほうけて、泣きを見たのも毎年懲りない祭りの思い出です。





ゆきゆきした
 ゆうえんち



廣田 朋さん（1年）

お父さんとお母さんとわたしで、遠くの遊園地に行きました。ヒューツと速いジェットコースターに乗ったことが一番おもしろかったです。だから、ジェットコースターを目立つようにしました。



秋にしか咲かない
 世界に一つだけの花



服部穂乃香さん（3年）

プリンカップの底のかわいい形を使って、世界に一つだけの花を作ろうと思いました。カップや綿を色画用紙に上手に貼り付けるのが難しかったです。



幸せな七色の親子ぞう



服部千花さん（5年）

軍手を液体粘土で固めて作りました。ぞうは、ゆったりしていて、親子でいつも幸せそうなので大好きです。あざやかで幸せそうな親子のぞうができて良かったです。



かいつぱいのリレー



吉樂丈瑠さん（2年）

うんどう会で一番がんばったりレーを描きました。「バトンを落とさないぞ!」「走るしせいで待つぞ!」という気持ちが手と腕に表れるように、よく見て描きました。



イカとタコのたたかい



廣田勝行さん（4年）

イカとタコが海の中でスミを出してたたかっているところです。まわりでは魚たちが見守っています。子どものイカとタコは大人よりもスミの量を少なくしました。



凶暴巨大タコ



上村卓巳さん（6年）

小さく切ったスポンジを針金に通して、吸ばんのあるタコの足を表現しました。タコの頭が立体的に丸くなるように作るのが難しかったです。



ジュニア芸術祭

27

田沢小学校